

日本地域学会ニューズレター

平成 29 年 no.2

平成 29 年 9 月 14 日

目 次

I.	副会長挨拶	... 2
II.	日本地域学会第 54 回年次大会（平成 29 年 10 月 6～8 日） 参加登録について	...3
III.	平成 29 年度日本地域学会総会（平成 29 年 10 月 7 日） 出席のお願い	... 3
IV.	理事会報告 平成 29 年度第 1 回—第 4 回理事会	... 4
V.	委員会報告	... 6
	1. 学会賞選考委員会	
	2. 機関誌編集委員会 第 56-57 回機関誌編集委員会	
	第 54 回年次大会準備委員会からのお知らせ	
	第 54 回年次大会の会場（立命館大学）案内	... 9
	立命館大学衣笠キャンパス内マップ	
	セッション・総会・シンポジウム会場配置図	...10
	交通案内	...11
	ネットワーク交流会・昼食案内	...11
	正会員入会申込書	...12

I. 副会長挨拶

日本地域学会
副会長 松本 昭夫

私と日本地域学会はやや「邪まな」動機から付き合いが始まった。今や学会の重鎮である河野博忠先生からある研究会の後に、国際学会への参加を進められたのである（今ネットでチェックしたら 1989 年の第 11 回 PRSCO シンガポール大会であった）。確かつぎのようなお誘いだったように記憶している。「こんどシンガポールで国際学会を開催するからこないか？ きれいな街で食事もおいしい、家族と一緒にならもっと楽しめるぞ」。当時、私は海外経験もほとんどなく、渡りに船とばかり有り難くこの申し出を受け入れ、家族ともども全くの観光気分準備をしていました。しばらくして「ところで、松本は何の報告をするのだ？ せっかく国際学会に参加するのだからやはり何か話をしないとイケない」と予想外の質問を受けました。（すでに観光モードになっていましたので、そんなこと聞いていません、子供と行くシンガポール動物園がメインです、というのが本当の気持ちでしたが、そうとも言えず）しどろもどろに「非線形動学を応用した在庫循環の話でもしようかと…」。報告はそれほどうまくできませんでしたが、ひどく落ち込んだ記憶もありませんので周りの方々がやさしく接してくれたのだらうと思っています。その後は国内の年次大会に出席したり、PRSCO や Summer Institute で報告したりとだんだんと取り込まれて行きます。

私自身は地域経済や地域科学とは趣が異なる非線形動学や遅延微分方程式などを経済に応用した主に経済動学の研究をメインにしていますが、この学会は妙に居心地がいいので、今日に至るまで「つつい」居続けしまいました。2017 年 4 月に第 1 号が発刊された Asian-Pacific Journal of Regional Science を

パラパラと見ていたら地域科学の創設者である Walter Isard の逸話が載っていました。彼は非常に博学で地域科学に限らず経済学、地理学、環境科学、その他もろもろの学際的な分野に関する豊富な知識を有して、例えば社会学部にいけば「社会学の地域科学への貢献」、心理学部にいけば「心理学の地域科学への貢献」の論題で観客を引き付ける講演ができたそうです。逆に考えれば地域科学は全方位に門戸を開いていて、その出発点から学際的な学問と考えることができるのです。ですから私のような場違いの人間でもやさしく受け入れてくれる包容力があるのです。日本地域学会と連携して Springer から刊行されている New Frontier in Regional Science: Asian Perspective を見てみますと、そのタイトルは Isard の精神を受けついでいるかのように百花繚乱、例えば、「日本の農業政策」、「太平洋とアジアにおける人口変化」、「混合寡占理論」、「空間経済からみた東日本大震災」、「水と貧困問題」、「地域社会の優位性」等々、まさに様々な題材を取り扱っている。

日本地域学会は先達の多大かつ不断の努力により今や 1000 人を超える会員を有し、50 年以上の歴史をもつ日本でも有数の学会へと成長したが、当然のことながら依然として発展途上にある。近年、新しいフェーズにはいり、海外からの情報を一方的に受け取り、漫然と諒ととするという時代は終わり、英文学会誌や学会員による英文書籍の出版、国際学会への参加などを通じて我々のメッセージを世界へ伝え、積極的な発信者としての責務を負うことになった。その責務を果たし、地域科学の新たな地平を切り開いていくために、若き研究者はもちろんのこと熟達した研究者の方々の更なる飛躍を期待する。

以上

II. 日本地域学会第 54 回年次大会

平成 29 年 10 月 6 日(金)～8 日(日)

第 54 回年次大会が立命館大学において下記の通り開催されます。

記

開催日：2017 年 10 月 6 日(金)～8 日(日)

開催校：立命館大学

会場：立命館大学衣笠キャンパス

住所：〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

<http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>

(大会実行委員会)

委員長 鐘ヶ江 秀彦 (立命館大学)
副委員長 豊田 祐輔 (立命館大学)
委員 Schlunze Rolf Dieter (立命館大学)
委員 斎藤 参郎 (福岡大学)
委員 五十嵐 寧史 (福岡大学)
委員 梶井 昌邦 (福岡大学)
委員 石橋 健一 (名古屋産業大学)
委員 小野 聡 (立命館大学)
委員 崔 明姫 (立命館大学)

(大会事務局)

〒603-8341 京都市北区小松原北町 58 立命館大学歴史都市防災研究所 第 2 プロジェクト室

(大会実行委員会メール)

jsrsai2017@gmail.com

(大会情報)

[https://www.facebook.com/日本地域学会第 54 回 年次大会-1273186102802365/](https://www.facebook.com/日本地域学会第54回年次大会-1273186102802365/)

(公開シンポジウム)

日時：2017 年 10 月 7 日(土)14:00～16:00

場所：立命館大学衣笠キャンパス@以学館

テーマ：『歴史都市の保全と継承政策』

(参加費等)

参加費：一般会員	5,000 円
学生会員	3,000 円
非会員	10,000 円

※(公開シンポジウムのみ参加は無料)
ネットワーク交流会(参加者のみ) 1,000 円

(申込み方法)

日本地域学会ホームページに掲載されております「年次大会申込フォーム」よりお申し込みください。受付締切は 9 月 30 日(土)となっております

ますが、まだご登録がお済みでない方は早急にお申込み下さい。座長、発表者、討論者を含め全ての参加者に申込みが必要です。なお総会(7 日 12 時 20 分を予定)を欠席される場合は、委任状フォームの記入もお願いいたします。

注意事項:

- 1) 今回の年次大会では、アブストラクト、レジュメなどが掲載された CD や USB の配布はしません。
- 2) 発表者は必ずレジュメを 20 部持参し、会場で配布して下さい。
- 3) アブストラクト、レジュメなどは、学会の HP で公開する予定です。
URL : <http://jsrsai.jp/ja/>
- 4) 年次大会会場では「eduroam」が利用できます。ご所属機関が「eduroam」に参加していない場合、立命館大学 Wifi の ID とパスワードを発行いたしますので、受付時にお申し出ください。
- 5) お弁当は 10 月 8 日(日)のみご注文頂けます。1,000 円 (肉または魚、500ml ペットボトル付き)

注文締切は 9 月 30 日(土)

7 日(土) は学食、周辺飲食店等をご利用ください。

8 日(日) は学食は休みです。

- 6) 発表・討論予定者へ。

教室には VGA ケーブル (HDMI 等なし) しかありませんので、ご持参のノートパソコンに接続コネクタがない場合、VGA 変換アダプタをご用意下さい。

以上

III. 平成 29 年度日本地域学会総会

平成 29 年 10 月 7 日(日)

日本地域学会会員各位

日本地域学会
会長 細江守紀

本年度総会を下記要領で開催致しますのでご出席ください。なお、欠席される場合には日本地域学会ホームページに掲載されております「年次大会申込フォーム」より、委任状をご提出下さい。

記

日 時:平成 29 年 10 月 7 日(土) 12:20~13:40

場 所:立命館大学衣笠キャンパス洋洋館

総会次第

- 1) 開会の辞
- 2) 会長挨拶
- 3) 来賓挨拶
- 4) 議題
 - (1) 新入会員・退会希望者の承認
 - (2) 平成 28 年度の事業報告の承認
 - (3) 平成 28 年度の収支決算の承認
 - (4) 平成 30 年度の事業計画の承認
 - (5) 平成 30 年度の収支予算の承認
 - (6) 平成 29 年度の収支予算(修正案)の承認
 - (7) 名誉会員の承認
 - (8) 第 55 回(2018 年) 年次大会の開催地開催校等の承認
 - (9) 第 56 回(2019 年) 年次大会の開催地開催校等の取扱いの承認
 - (10) その他
- 5) 報告
 - (1) 新入会員キャンペーンの継続
 - (2) 『地域学研究(47 巻)』の編集
 - (3) RSAI の動向
 - (4) PRSCO の動向
 - (5) その他
- 6) 学会賞授与式
 - (1) 選考経過報告
 - (2) 学会賞授与(受賞者は V. 委員会報告に別掲)
 - (3) 受賞者挨拶
- 7) その他
- 8) 閉会の辞

以上

IV. 理事会報告

平成 29 年度 日本地域学会 第 1 回 理事会

日 時:平成 29 年 4 月 23 日(日) 13:00-15:00

場 所:学術総合センター 2 階 会議室 202-203

出席者:浅見, 石橋, 鐘ヶ江, 木南(莉), 國光, 櫻井, 佐々木, 洪澤, 鈴木, 高橋, 多和田, 徳永,

野崎, 水鉋, 福井, 細江, 水野谷, 三友, 宮田, 柳原の各理事(ただし萩原, 阿部, 岡村, 内田, 近藤, 斎藤, 戸田, 中山, 松本, 吉田の各理事より委任状付託; 以上理事 27 名出席); オブザーバとして白井, 河野, 原, 酒井, 藤岡の各顧問, 小川, 内藤, 黛, 森岡の各幹事; 佐橋事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認
水野谷総務担当常任理事より, 前回理事会以降申し込みのあった 4 名の正会員(個人会員)の入会と 20 名の個人会員の退会の希望があった旨報告があり, これを審議した結果, 総会に諮る事が諒承された。
2. 平成 28 年度決算(案)の審議と承認
水野谷総務担当常任理事より平成 28 年度決算(案)について説明があり, これを総会に諮ることを諒承。
3. 平成 29 年度予算(修正案)の審議と承認
水野谷総務担当常任理事より平成 29 年度予算(修正案)について説明があり, これを総会に諮ることを諒承。
4. 平成 30 年度予算(案)の審議と承認
水野谷総務担当常任理事より平成 30 年度予算(案)について説明があり, これを総会に諮ることを諒承。
5. 平成 28 年度事業報告(案)
水野谷総務担当常任理事より平成 28 年度事業報告(案)について説明があり, これを総会に諮ることを諒承。
6. 平成 29 年度事業計画の修正(案)
水野谷総務担当常任理事より平成 29 年度事業計画の修正(案)について説明があり, これを総会に諮ることを諒承。
7. 平成 30 年度事業計画(案)
水野谷総務担当常任理事より平成 30 年度事業計画(案)について説明があり, これを総会に諮ることを諒承。
8. 第 54 回(2017 年)年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成
鐘ヶ江大会実行委員長より年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成状況について説明があり, これを諒承。
9. 学会賞(論文賞・奨励賞・著作賞)に関する規

程の改正の承認。

水野谷総務担当常任理事より、日本地域学会著作賞に関する規程において、著作賞授賞選考候補者及び受賞者には非会員も含めることとする改正提案が有り、これを諒承。

10. 『地域学研究』セット販売の推進
細江会長より引き続きセット販売の促進を進める旨提案があり、これを諒承。
11. 新入会員勧誘キャンペーンの推進
細江会長より新入会員勧誘の現状について報告があり、引き続きキャンペーンを進めることが諒承された。
12. 日本経済学会連合の H29 年度補助事業 2 次申請について
水野谷総務担当常任理事より日本経済学会連合の H29 年度補助事業第 2 次申請募集について報告があり、学会として同事業の応募者募集を行うことが諒承された。
13. その他
なし

報告事項

- 1) 機関誌編集委員会報告
多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』47 巻及び 48 巻の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況についての報告及び Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) の刊行に伴い第 47 巻より 2 号ずつの刊行とする旨の報告があった。
- 2) Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について
氷鉋企画担当理事より Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) の掲載候補論文の選考と編集状況について報告があった。
- 3) 第 1 回学会賞優秀発表賞選考委員会報告
酒井学会賞選考委員長より平成 28 年度第 53 回年次大会学会賞優秀発表賞選考結果について報告があった。
- 4) 第 1 回学会賞選考委員会報告
酒井学会賞選考委員長より平成 29 年度第 26 回学会賞の選考方針および同賞選考について報告があった。
- 5) RSAI の動向

洪澤庶務担当常任理事及び氷鉋企画担当理事より RSAI の動向について報告があった。

- 6) PRSCO の動向
洪澤庶務担当常任理事より PRSCO の動向について報告があった。
- 7) その他

平成 29 年度日本地域学会第 2 回理事会(持回り)
日 時：平成 29 年 6 月 23 日(金) 17:00
議題

資産評価政策学会 平成 29 年度シンポジウム
「所有不明土地問題を考える」
資産評価政策学会主催の標記セミナーの後援名義使用を許可する件につき 6 月 27 日(火) 異論なく承認された。

平成 29 年度日本地域学会 第 3 回理事会
日 時：平成 29 年 7 月 16 日(日) 13:00-15:00
場 所：学術総合センター1 階特別会議室 102-103

出席者：浅見，石橋，内田，木南(莉)，國光，櫻井，佐々木，鈴木，高橋，多和田，徳永，福井，細江，中山，野崎，松本，水野谷，三友，宮田，柳原の各理事(ただし，萩原，洪澤，阿部，鐘ヶ江，近藤，斎藤，戸田，吉田の各理事より委任状付託；以上理事 28 名出席)；オブザーバとして白井，河野，藤岡の各顧問，酒井学会賞選考委員長，楠(章)機関誌編集委員会副委員長，森岡，黛，小川の各幹事；佐橋事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認
水野谷総務担当常任理事より、個人会員(14 名)の入会希望と個人会員(1 名)の退会希望があった旨報告があり、これを審議した結果、総会に諮る事を諒承された。この結果、正会員 1,026 名、法人会員 6 団体となった。
2. 平成 30 年度予算(案)の修正について
水野谷総務担当常任理事より、平成 30 年度予算(案)の修正について説明があり、これを諒承。

3. 平成 28 年度決算書監査承認について

水野谷総務担当常任理事より、平成 28 年度決算の監査承認済みの説明があり、これを諒承。

4. 第 54 回（2017 年）年次大会準備の進捗状況

石橋理事より宿泊施設の確保、市バス 1 日券の購入の勧めがあった。また、理事会と懇親会、プログラムについての検討状況について説明があった。加えて、セッション会場には教室には VGA ケーブル無いため、持参のノートパソコンに接続コネクタがない場合、VGA 変換アダプタを用意して頂くよう、HP での情報提供することについて確認された。

5. 第 54 回（2017 年）年次大会の並行セッション及びシンポジウムの編成

水野谷総務担当常任理事より、並行セッション及びシンポジウムの編成について説明があり、これを諒承。

6. 第 55 回（2018 年）年次大会準備の進捗状況

水野谷総務担当常任理事より、第 55 回年次大会の開催校を北海学園大学とすることが報告され、この件を次回総会に諮ることを諒承。また、鈴木理事より北海学園大学に関しての説明があった。

7. 『地域学研究』セット販売の推進

細江会長よりセット販売の推進について説明があり、これを諒承。

8. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

細江会長より新入会員勧誘キャンペーンの推進について説明があり、これを諒承。また、木南(莉)理事より東北地区のキャンペーン担当者を増員することが提案され、これを諒承。

9. その他

年次大会の領収書の事後保管に関して

木南(莉)理事より、年次大会の領収書の事後保管に関し、開催校での決算終了後、5 年間事務局で保存しておくことが提案され、諒承された。また、今後、年次大会のスムーズな運営のために開催予算利用のガイドラインを作成することが諒承された。

事務局の業務に関して

水野谷総務担当常任理事より、年々増加する事務局業務量について説明と作業の効率化と共に事務局秘書の増員についての提案があり、これを諒承。

報告事項

1) 平成 29 年度日本地域学会第 2 回理事会(持ち回り)

細江会長より持ち回りによって実施した第 2 回理事会に関して報告があった。

2) 機関誌編集委員会報告

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』46 巻および 47 巻の掲載候補論文の選考と刊行進捗状況について報告があった。

3) 第 2 回学会賞選考委員会報告

酒井委員長より第 2 回学会賞選考委員会について報告があった。

4) RSAI の動向

水野谷総務担当常任理事より、RSAI の動向について報告があった。

5) PRSCO の動向

特になし。

6) その他

特になし。

平成 29 年度日本地域学会第 4 回理事会(持回り)

日 時：平成 29 年 8 月 23 日(水) 17:00

議題

公益社団法人日本不動産学会平成 29 年度シンポジウム「大都市部の空き家利活用における住民・行政・企業の役割と連携方法—地方の経験を生かして」

公益社団法人日本不動産学会主催の標記セミナーの後援名義使用を許可する件につき 8 月 30

(水) 異論なく承認された。

以上

V. 委員会報告

1. 学会賞選考委員会

学会賞選考委員会（委員長 酒井泰弘 滋賀大

学名誉教授)では、慎重な審議のうえ下記の会員の方々に平成 29 年度(第 26 回)日本地域学会学会賞を授与する事を決定しましたので報告致します。なお、授与式は本年度の総会で執り行われます。

功績賞:

氷鉋揚四郎(筑波大学名誉教授) 学術博士

論文賞:

伊ヶ崎大理(日本女子大学家政学部准教授) 博士(経済学)

主題: Natural Disasters, Migration, and Regional Development

奨励賞:

該当なし

著作賞:

近藤健児(中京大学経済学部教授) 博士(経済学) 著

『The Economics of international Immigration: Environment, Unemployment, the Wage Gap, and Economic Welfare』

Amitrjeet Batabyal (Department of Economics Rochester Institute of Technology) Ph.D

Peter Nijkamp (KTH Royal Institute of Technology) Ph.D 編

『Regional Growth and Sustainable Development in Asia』

大川隆夫(立命館大学経済学部教授) 経済学博士

多和田眞(愛知学院大学経済学部教授) 経済学博士

岡村誠(学習院大学経済学部特別客員教授) 経済学修士

野村良一(立命館大学経済学部教授) 博士(経済学) 編

『Regional Free Trade Areas and Strategic Trade Policies』

博士論文賞:

Rajeev Kumar Singh(公益財団法人地球環境戦略研究機関) 博士(学術)

主題: Analysis of Policy-Innovation Linkage of End-of-Life Vehicles

(ELV): The Potential Environmental Implication and Technologies Transfer to

Developing Countries

修士論文賞(熊田禎宣賞):

吉田真悟(東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程)

主題: 都市農業における新規就農者の経営資源獲得と経営発展-東京都及び横浜市を対象として

H28 最優秀発表賞(第 9 回):

金承華(中央大学大学院経済学研究科博士後期課程)

『中国における森林保全政策-退耕還林政策の展開と課題』

2. 機関誌編集委員会

日本地域学会 第 56 回機関誌編集委員会

日時: 平成 29 年 4 月 23 日(日) 11:00-12:00

場所: 学術総合センター会議室

出席者: 浅見, 石橋, 鐘ヶ江, 木南(章), 木南(莉), 酒井, 櫻井, 洪澤, 鈴木, 高橋, 多和田, 徳永, 野崎, 藤岡, 細江, 氷鉋, 松本, 水野谷, 三友, 柳原の各編集委員(ただし戸田, 吉田の各委員より委任状付託), 内田 APJRS 担当理事, 小川, 内藤, 黛, 森岡の各幹事, 佐橋, 秋山事務局秘書, 平地様(Springer)

議題

- 『地域学研究』第 47 巻掲載候補論文の選考レフェリー評価に基づく第 47 巻の掲載候補論文の選考状況について, 多和田委員長より報告があった。
- 同上機関誌印刷方針第 47 巻の印刷方針について, 氷鉋 Managing Editor より報告があった。
- Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) について Springer の平地様から説明があった。
- J-Stage の公開までの期間変更について(現行 10 年)
J-Stage における論文無料公開期間変つての議論の提案が氷鉋 Managing Editor よりあり, 7 月の理事会に諮ることとなった。
- EM システム内における論文の分類について地域学研究掲載論文の分類変更に伴い,

改正前の投稿論文の査読が全て終了した時点で EM のシステムも同様の分類に完全に切り替えることの提案が水野谷委員よりあり、諒承された。また「提言」は、原則依頼原稿であるので、EM 上での論文分類は「研究論文」のみとすべきとの見解が出され、諒承された。

6. その他

日本地域学会 第 57 回機関誌編集委員会

日 時：平成 29 年 7 月 16 日（日）11:00-12:00

場 所：学術総合センター会議室

出席者：浅見，石橋，木南(章)，木南(莉)，酒井，櫻井，鈴木，高橋，多和田，徳永，野崎，藤岡，細江，松本，水野谷，三友，柳原の各編集委員（ただし阿部，鐘ヶ江，渋澤，戸田，氷鮑，吉田の各委員より委任状付託），内田 APJRS 担当理事，小川，黛，森岡の各幹事，佐橋事務局秘書

議題

1. 『地域学研究』第 47 巻掲載候補論文の選考
レフェリー評価に基づく第 47 巻の掲載候補論文の選考状況について、多和田委員長より報告があった。
2. 同上機関誌印刷方針
第 47 巻の印刷方針について、多和田委員長より報告があった。
3. APJRS 関連について
内田 APJRS 担当理事より Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)の編集状況と刊行予定学会誌について報告があった。
4. その他

以上

第54回年次大会準備委員会からのお知らせ

// 会場案内 //

1. 立命館大学衣笠キャンパス

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

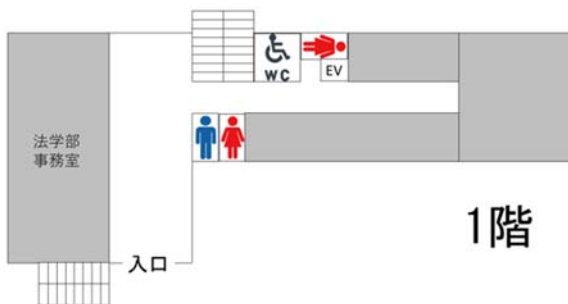
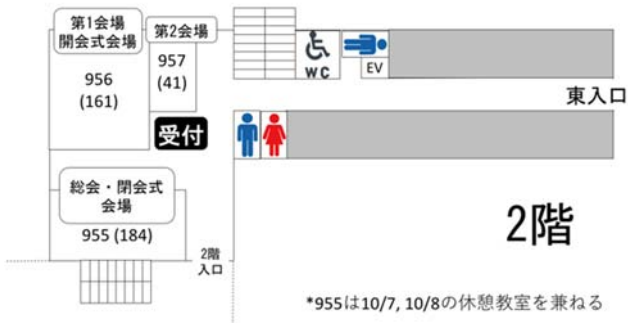
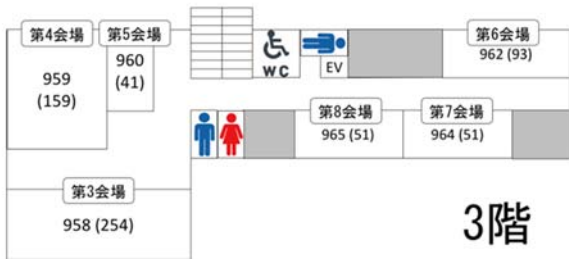
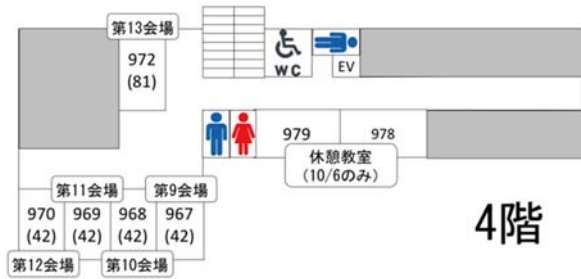


- 立命館大学衣笠キャンパス
- 2 存心館（時計台の建物）
（生協食堂〔地階〕）
 - 5 以学館
（シンポジウム会場）
 - 12 洋洋館
（セッション・総会会場）
 - 29 歴史都市防災研究所
（ネットワーク交流会会場）

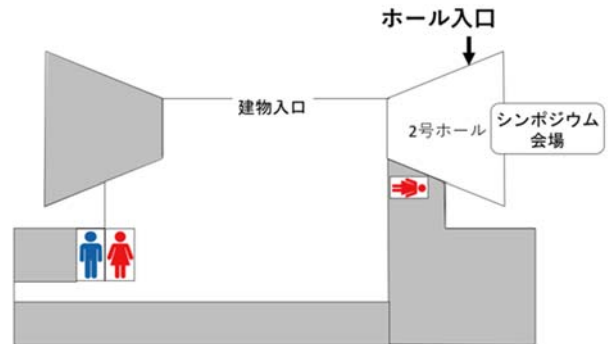


2. 会場配置図

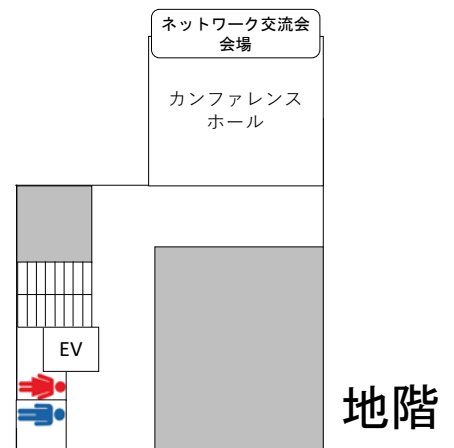
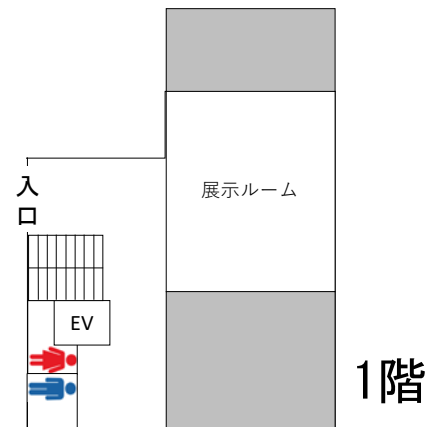
◆セッション・総会会場（洋洋館）



◆シンポジウム会場（以学館）



◆ネットワーク交流会会場 （歴史都市防災研究所）



3. 交通アクセス

- ・京都駅より市バス 50 系統, JR 西日本路線バスにて約 50 分 (立命館大学前下車)
- ・四条烏丸バス停より市バス 55 系統にて約 45 分 (立命館大学前下車)
- ・四条河原町バス停より市バス 15, 59, 12 系統にて約 50 分 (立命館大学前下車)
- ・阪急西院駅バス停より 205 系統 (立命館大学行, 朝のみ) にて約 20 分
- ・阪急西院駅バス停より 205 系統 (北大路行) にて約 20 分 (衣笠校前下車), 徒歩 15 分
(詳細は, <http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>をご参照ください)

★10月7日〔土〕ならびに8日〔日〕は3連休の週末となり、通常よりも時間がかかることが予想されますので、時間に余裕をもってお越しください。

// ネットワーク交流会・昼食案内 //

1. ネットワーク交流会

飲み物とスナックのカクテルパーティ形式で軽く実施します。
交流会後は研究者仲間等と各自京都の夜をお楽しみください。

日時：2017年10月7日（土）16時30分～17時30分

場所：歴史都市防災研究所カンファレンスホール（会場案内を参照）

〒603-8341 京都市北区小松原北町 58

会費：1,000円

（アルコールは4トークンチケット制。さらに会場にて、1,000円で追加6トークンチケットを販売いたします。なお、ジュース、お茶、おつまみはチケット不要です。
ネットワーク交流会ですので、名刺をお忘れなく。）

2. 昼食

（お弁当注文）

3日目の10月8日（日）のみの注文となります。

事前予約で承っております。注文締切は9月30日（土）

代金：1,000円（肉または魚、500ml ペットボトル付き）

休憩教室（洋洋館 2階 955）で弁当をお渡しいたします。

（その他）

大学食堂（会場案内を参照）、キャンパス周辺には飲食店もあります。

尚、食堂は日曜日は休みです。